

第五章

計画推進に向けて

To promote the plan

文化芸術振興の担い手と役割

大和市文化芸術振興条例では、市民と市が果たす役割をそれぞれ定めています。

文化芸術振興の総合的な推進を図るため、市や事業者等の役割を明らかにするとともに、市民、文化芸術団体等に次のような役割を期待します。

また、市では、これまで同様、教育、国際、観光など、庁内における関係部署との連携、協力を継続しながら、より発展的な取り組みを進めていきます。

施策目標		方策	
施策目標 1	市民の暮らしと文化芸術とのつながりを深める	1-1	誰もが文化芸術を日常的に親しめる機会の充実
		1-2	ユニバーサルデザインの視点を取り入れた環境の整備
		1-3	市民の自発的かつ主体的な文化芸術活動への支援
		1-4	芸術性の高い文化芸術に触れる機会の充実
		1-5	文化芸術の力を社会へ活かす取り組みの推進
施策目標 2	地域の文化を大切に守り、次代につなぐ	2-1	観光振興や地域振興等につなげる取り組みの推進
		2-2	歴史的資源の保存、継承、活用の推進
		2-3	地域の歴史・文化を知り、学べる機会の充実
施策目標 3	すべての子どもが文化芸術に親しめる環境をつくる	3-1	文化芸術の本物の輝きに触れる機会の充実
		3-2	子どもの文化芸術活動をサポートする組織の支援
		3-3	創造活動の成果を発表する機会の充実
施策目標 4	文化芸術の振興を牽引する担い手を育てる	4-1	伝統文化継承者の育成
		4-2	若者の創造活動への支援
		4-3	文化芸術の振興に寄与した人の顕彰
		4-4	文化芸術活動を支える人材の育成
施策目標 5	大和の文化芸術の魅力を内外にアピールする	5-1	多くの人を惹きつける文化芸術イベントの開催
		5-2	文化芸術に関する情報発信力の強化
		5-3	文化芸術の魅力の一体的な発信
		5-4	大和らしい歴史的・文化的景観の発掘、発信
施策目標 6	多文化共生社会の実現を目指し、様々な文化に親しめる環境をつくる	6-1	文化芸術を通じた国際交流イベントの推進
		6-2	海外都市との文化芸術交流の推進
		6-3	国際理解に関する意識啓発の充実



◎：主導的に関わる担い手 ○：支援する担い手

市民等		事業者等			市	
市民 (文化芸術 団体等)	芸術家	芸文 ホール	公益財団・ 観光協会	民間文化施 設	市	教育 委員会
◎	◎	◎	○	○	◎	○
○	○	◎		○	◎	
		○	○	○	◎	○
○	◎	◎		○		
○	○	◎			◎	○
	○		◎		◎	
○					◎	◎
○			○		◎	◎
	◎	◎	◎	○	○	◎
○			◎		○	○
		○		○	◎	◎
	○		◎		◎	
	○	◎	○	○	◎	
		◎		○	◎	
		◎		○	◎	
○	○		◎		◎	
		◎	◎		◎	
○	○	◎	○	○	◎	
			◎		◎	
○	○	○	◎		◎	
○			◎		◎	
			◎		○	

モニタリング（計画の進行管理）

本計画では、「PDCA サイクル」の考え方に基づいた進行管理を基本とします。具体的には、施策目標の達成のために特に重要となる指標（モニタリング項目）等の推移を定期的に把握しながら、有識者と市民で構成する文化芸術振興審議会において定量的・定性的双方の観点で確認を行い、それらの内容を踏まえ、必要に応じて事業の見直しを行います。

なお、本計画の運用中に、新型コロナウイルスのような社会環境が一変する不測の事態が再度起きた場合は、「OODA（ウーダ）ループ」の考えに基づく進行管理に切り替え、状況に合わせた方策を計画に追加することや、モニタリングの項目の見直し、目標数値の変更など、柔軟に対応することとします。

※OODA ループ：

現場を「観察（Observe）」、「分析（Orient）」し、状況に応じて素早く「意思決定（Decide）」し、「実行（Act）」に移すマネジメント手法。

PDCA サイクルは、「計画を立ててから行動する」のに対し、OODA ループは、「状況を見てとりあえずやってみる」という考え方で、状況によって意思決定したあとも、再度、観察に戻ることもあります。

施策目標	項目	現状数値	目標数値 (R11)
施策目標 1	過去 1 年間に於いて 1 回以上文化芸術の鑑賞を行った市民の割合	39.1% (R5)	65.0%
	自ら文化芸術活動を行っている市民の割合	22.0% (R5)	30.0%
	文化や芸術活動に親しんでいる市民の割合	27.7% (R6)	向上
施策目標 2	歴史文化施設の利用者数	37,025 人 (R5)	50,280 人
	大和の歴史や文化財は、しっかり継承されていると思う市民の割合	17.7% (R6)	向上
施策目標 3	市立小・中学校の文化芸術鑑賞・体験 1 校当たりの実施回数	3.5 回 (R5)	5 回
施策目標 4	やまと子ども伝統文化塾の累計受講者数	2,399 人 (R5)	3,400 人
施策目標 5	芸術文化ホール年間利用者数	209,782 人 (R5)	306,000 人
	YAMATO ART100 として採用した文化芸術イベント数	128 件 (R5)	100 件以上
	観光文化イベントの年間総来場者数	680,763 人 (R5)	1,120,000 人
施策目標 6	国籍に関わらず、住民同士が交流・協力していると思う市民の割合	23.8% (R6)	向上